

**講座  
25**

**日本芸能史を多角的な視点で探る**

【定員】100名      【受講料】 2年会員15,380円    1年会員 17,060円    聴講生 22,080円

『音楽・芸能』日本の伝統芸能      【時間】 毎回13時30分～15時00分    (計12回)

概要 日本音楽・芸能には、古典芸能や民俗芸能とは別に、外来文化の影響、少数派の分野なども数多くあります。今期はこうした日本の芸能の「もうひとつの側面や視点」に注目します。

回	月/日(曜日)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/30(月)	高津市民館 大会議室	古代芸能と外来文化：雅楽に見られるアジア各地の文化の痕跡	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重行敏
2	10/ 7(月)		キリシタン音楽と箏曲：六段と聖歌の関係は？	
3	10/28(月)		明清楽と流行歌：月琴、一弦琴から大正琴への系譜	
4	11/11(月)		唱歌と讃美歌：小学唱歌集の原曲を探る	
5	11/25(月)		軍楽隊からジンタ、チンドン：街角に出た音楽隊の歴史	
6	12/ 2(月)		浅草オペラと宝塚：大正期の東西大都市の音楽文化	
7	12/ 9(月)		チャイニーズ歌謡：国策映画と音楽、そして李香蘭と服部良一	
8	12/23(月)		クリスマスソングはどこから来たか：街を彩る名曲のルーツは？	
9	1/27(月)		沖縄の芸能：(ゲスト/名嘉ヨシ子ほか) 琉球音楽で新年を寿ぐ **1	
10	2/10(月)		国民歌謡の世界：官製歌謡曲は成功したのか。海行かばの功罪	
11	3/ 3(月)		ブギとひばり：歌謡曲にジャズが与えた影響	
12	3/10(月)		民謡の新しい風 ゲスト/おもだか秋子(民謡歌手) **2	

連絡事項 \*\*1、\*\*2の回は実演を予定しております。この日はこの講座の受講生以外の方も受講できます。受講料として各回2,000円をいただきます。事前の申込みの必要はありません。当日直接会場へお越しください。